

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ[®]リディア[®]箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠
作成日: 2021/12/09 改訂日: 2025/04/23

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ホクコーDr.オリゼ[®]リディア[®]箱粒剤
整理番号 : 1681-02

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬(殺虫・殺菌剤)
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

会社情報

供給者の会社名称

北興化学工業株式会社
企画部 環境安全チーム
東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
T 03-3279-5151 - F 03-3279-5195

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(免疫系, 呼吸器系, 腎臓)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 3

*記載のないものは区分に該当しない、あるいは分類できない。

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険
危険有害性 (GHS JP) : 遺伝性疾患のおそれの疑い(H341)
発がんのおそれ(H350)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(免疫系、呼吸器系、腎臓)(H372)
長期継続的影響によって水生生物に有害(H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ[®]リディア[®]箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 応急措置 : ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
- 保管 : 施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学名 : N-[(E)-1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)ピリジン-2(1H)-イリデン]-2, 2, 2-トリフルオロアセトアミド/3-アリルオキシ-1, 2-ベンゾイソチアゾール-1, 1-ジオキンド混合物
- 別名 : フルピリミン/プロベナゾール製剤

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
フルピリミン	2.0	対象外	8-(1)-4152	1689566-03-7
プロベナゾール	24.0	(5)-3433	既存化学物質	27605-76-1
鉱物質微粉等	74.0			
結晶質シリカ(石英)	33	(1)-548	既存化学物質	14808-60-7
流動パラフィン	5.0	-	-	8042-47-5
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	1.0	-	-	112926-00-8

4. 応急措置

- 応急措置
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐこと。
皮膚は多量の水で洗浄する。
外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄すること。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合には、医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の診断／手当てを受けること。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
毛布等で保温して安静に保つこと。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は有害物質に触れないよう、適切な保護具を着用すること。
- 医師に対する特別な注意事項
- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ[®]リディア[®]箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、砂
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止すること。
危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止めること。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移すこと。
容器、周囲の設備等に散水して冷却すること。
消火活動は、可能な限り風上から行うこと。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
漏出物との接触及び吸入を避けること。
- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めてドラム等に回収すること。
- 浄化方法 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止めること。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 作業所の十分な換気を確保する。
屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ[®]リディア[®]箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全取扱注意事項

- ：使用前に取扱説明書を入手すること。
 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - 作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
 - 取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
 - 部屋の排気および全般的な換気を確保する。
 - 個人用保護具を着用する。
 - 危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 - 容器を転倒、落下させ、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしないこと。
- 接触回避
- 衛生対策
- ：「10. 安定性及び反応性」記載の混触危険物質との接触及び保管を避けること。
 - ：作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 - 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗うこと。手袋等の汚染された保護具を持ち込まないこと。

保管

安全な保管条件

- ：施錠して保管すること。
- 食品、飲料、動物用飼料とは区別して保管すること。
- ：はり合わせアルミはく袋、クラフト紙袋又はクラフト加工紙袋。
- ：涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
- ：製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

安全な容器包装材料

技術的対策

容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

結晶質シリカ(石英) (14808-60-7)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	結晶質シリカ
許容濃度	0.03 mg/m ³ (吸入性粉塵)
特記事項 (JP)	発がん性分類 1
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻

設備対策

- ：作業所の十分な換気を確保する、屋内で取り扱う場合には、局所排気装置および／または全体換気装置を使用する。
- 取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

個人用保護具

- ：推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具

- ：農業用マスク

手の保護具

- ：保護用手袋 (不浸透性)

眼の保護具

- ：保護眼鏡、ゴーグル、保護面

皮膚及び身体の保護具

- ：適切な保護衣を着用する、保護帽子、保護服 (不浸透性)、保護長靴等

環境へのばく露の制限と監視

- ：環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

- ：固体

外観

- ：細粒

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ®リディア®箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

色	: 類白色
臭い	: データなし
pH	: 7.8
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 可燃性固体の区分には該当しない
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 0.98（見掛け比重）
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分分配係数（Log Pow）	: データなし
爆発限界（vol %）	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第 7 項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 燃焼時、有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入）	: 区分に該当しない（分類対象外）（気体） 区分に該当しない（分類対象外）（蒸気） 分類できない（粉じん、ミスト）

Dr.オリゼ®リディア®箱粒剤	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg（雌）
フルピリミン	
LD50 経口 ラット	> 300 – ≤ 2000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 – ラット（粉じん / ミスト）	> 5 mg/L/4h
プロベナゾール	
LD50 経口 ラット	2030 mg/kg

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ[®]リディア[®]箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

プロベナゾール	
LD50 経皮 ラット	> 5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 5.03 mg/L/4h
結晶質シリカ(石英)	
急性毒性 (経口)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口	> 5000 mg/kg
LD50 経皮	> 2000 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	: 区分に該当しない ウサギ 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分に該当しない ウサギ 刺激性なし
呼吸器感作性	: 分類できない
結晶質シリカ(石英)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: 区分に該当しない モルモット 陰性
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれの疑い
フルピリミン	
生殖細胞変異原性	Ames 試験 陰性、染色体異常試験 陰性、マウス小核試験 陰性
プロベナゾール	
生殖細胞変異原性	Ames 試験 陰性、染色体異常試験 陰性、マウス小核試験 陰性
結晶質シリカ(石英)	
生殖細胞変異原性	区分 2
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	: 発がんのおそれ

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ[®]リディア[®]箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

プロペナゾール	
発がん性	知見なし
結晶質シリカ(石英)	
発がん性	ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARC は本物質粉じんばく露によるヒト発がん性に対し、「グループ 1」に分類し、他の国際機関による発がん性分類結果としては、日本産業衛生学会が「第 1 群」に（産衛学会勧告（2015））、ACGIH が 2004 年以降「A2」に（ACGIH（7th, 2006））、NTP が結晶質シリカ（吸入性粒子径）に対して、「K」に分類している（NTP RoC（13th, 2014））。よって、本項は区分 1A とした。
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
発がん性	本物質は合成型非晶質シリカに分類され、IARC は非晶質シリカ全体に対して発がん性分類を「グループ 3」とした（IARC 68（1997））。よって、IARC の評価に従い分類できないとした。
生殖毒性 : 分類できない	
プロペナゾール	
生殖毒性	マウス 繁殖能・催奇形性試験（無毒性量 110.2 mg/kg/day） 陰性 ラット 繁殖能試験（無毒性量 45.7～77.9 mg/kg/day） 陰性 ラット 催奇形性試験（200 mg/kg/day） 陰性 ウサギ 催奇形性試験（32 mg/kg/day） 陰性 [分類できない]
結晶質シリカ(石英)	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない	
プロペナゾール	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	知見なし
結晶質シリカ(石英)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	シリカゲル（Syloid 244）は気道刺激性があるとの報告（SIDS（2006）、ECETOC JACC（2006））から、区分 3（気道刺激性）とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（免疫系、呼吸器系、腎臓）	
プロペナゾール	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	知見なし
結晶質シリカ(石英)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおける多くの疫学研究において、本物質の職業ばく露と呼吸器への影響が確認されているほか、自己免疫疾患、慢性腎疾患及び無症状性の腎変性もみられている（SIDS（2013）、CICAD 24（2000）、DFGOT vol. 14（2000））。この腎臓の疾患は自己免疫が関連していると考えられている（SIDS（2013））。実験動物においても、ラットを用いた反復吸入ばく露試験により肺の線維化が確認されている（SIDS（2013））。したがって、区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓）とした。

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ®リディア®箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて影響はみられず、実験動物においては、吸入経路において軽微な影響のみみられ、経口経路では影響はみられていないことから、分類できないとした。

誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に有害
甲殻類の急性データに基づき、区分 3 とした。

水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続の影響によって水生生物に有害
区分 1 のフルピリミンを 2.0%と、区分 3 のプロベナゾールを 24.0%含む。

Dr.オリゼ®リディア®箱粒剤	
LC50 - 魚 [1]	99 mg/L コイ
EC50 - 甲殻類 [1]	16 mg/L オオミジンコ
ErC50 藻類	120 mg/L 緑藻
NOEC 藻類 慢性	2.5 mg/L 緑藻

フルピリミン	
LC50 - 魚 [1]	> 99.6 mg/L コイ
EC50 - 甲殻類 [1]	> 99.6 mg/L オオミジンコ
EC50 - 他の水生生物 [1]	0.099 mg/L 底生生物 (ユスリカ)
ErC50 藻類	> 48 mg/L 緑藻

プロベナゾール	
LC50 - 魚 [1]	3.41 mg/L コイ
EC50 - 甲殻類 [1]	2.71 mg/L オオミジンコ
ErC50 藻類	> 3.07 mg/L 緑藻
NOEC 藻類 慢性	0.719 mg/L 緑藻

結晶質シリカ(石英)	
水生環境有害性 短期(急性)	非晶質シリカを用いて試験されたデータで、甲殻類(オオミジンコ)の 24 時間 LL50 > 10,000 mg/L、魚類(ゼブラフィッシュ)の 96 時間 LL0 = 10,000 mg/L(いずれも SIDS, 2013)であることから、区分外とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急性毒性は区分外であるが、無機化合物であり、急速分解性及び生物蓄積性に関する適切なデータが得られていないことから、分類できないとした。

非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
水生環境有害性 短期(急性)	甲殻類(オオミジンコ)24 時間 EC50 > 10000 mg/L、魚類(ゼブラフィッシュ)96 時間 LC50 = 10000 mg/L(いずれも SIDS, 2006)であることから、区分外とした。

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ®リディア®箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

非晶質シリカ(非晶質沈降シリカ)	
水生環境有害性 長期(慢性)	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急性毒性は区分外であるが、無機化合物であり、急速分解性及び生物蓄積性に関する適切なデータが得られていないことから、分類できないとした。

残留性・分解性

Dr.オリゼ®リディア®箱粒剤	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

Dr.オリゼ®リディア®箱粒剤	
生体蓄積性	データなし

土壤中の移動性

Dr.オリゼ®リディア®箱粒剤	
土壤中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報推奨製品/梱包処分	: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
残余廃棄物	: 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理すること。 廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)	
国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ®リディア®箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

緊急時応急措置指針番号 : 171
その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)
結晶質シリカ
鉱油
【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
結晶質シリカ(政令番号 : 165 の 2) (33%)
鉱油(政令番号 : 168) (5.0%)
【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。) (1.0%)
がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号)
結晶質シリカ
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法 : 非危険物
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
3-アリルオキシ-1, 2-ベンゾイソチアゾール-1, 1-ジオキシド(別名プロベナゾール)(管理番号 : 571) (24.0%)
労働基準法 : がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)
すず、鉱物油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィン
農薬取締法 : 登録番号第 24367 号
じん肺法 : 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
カオリン
シリカ

16. その他の情報

引用文献 : 三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社
Dr.オリゼ®リディア®箱粒剤 安全データシート
作成日 2024 年 10 月 1 日 整理番号 AGA50022Ja_00

安全データシート

ホクコーDr.オリゼ[®]リディア[®]箱粒剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

オリゼ、リディアは三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社の登録商標です。

免責条項 当該シートに記載されている情報は現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性等の記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

また、製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いかねます。

なお、当該シートは本製品にのみ適用され、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがありますので、ご注意の上、お取り扱い願います。